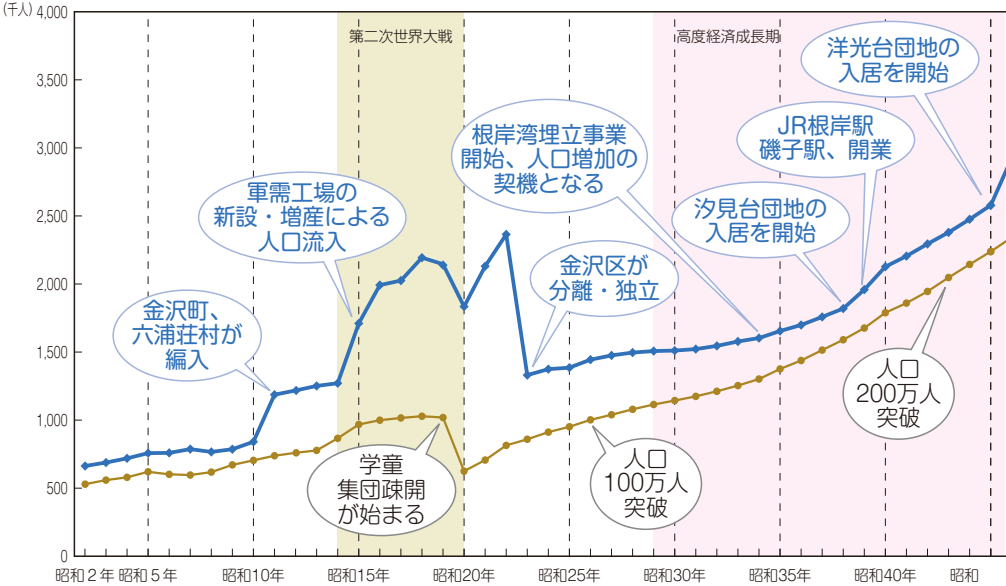


人口

◆横浜市と磯子区の人口の推移

【横浜市】

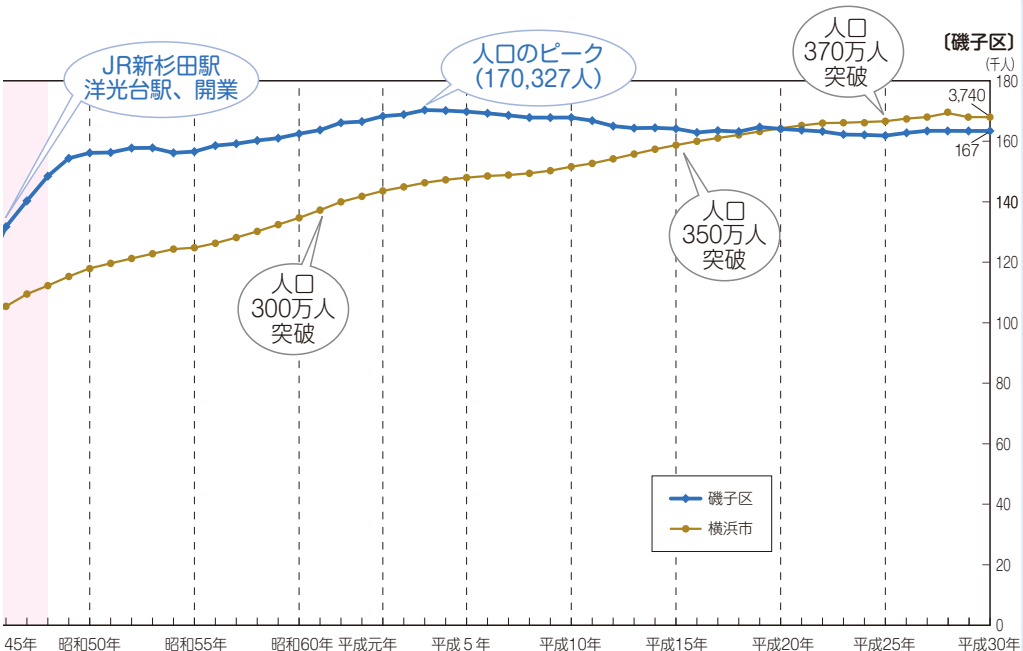


港南区・旭区・緑区・瀬谷区が誕生(昭和44年)
 磯子区制40周年(昭和42年)
 東京オリンピック開催(昭和39年)
 マリントワー完成(昭和36年)
 横浜開港100年(昭和33年)
 磯子区制30周年(昭和32年)
 磯子消防署・磯子公会堂新築落成(昭和32年)
 テレビ放送開始(昭和28年)
 磯子区の一部が分区し、金沢区が誕生(昭和23年)
 磯子区制20周年(昭和22年)
 横浜大空襲(昭和20年)
 西区誕生(昭和19年)
 南区誕生(昭和18年)
 港北区・戸塚区が誕生(昭和14年)
 磯子区制10周年(昭和12年)
 ニューヨーク株式大暴落、世界恐慌始まる(昭和4年)
 区制施行により鶴見区・神奈川区・中区・保土ヶ谷区・磯子区が誕生(昭和2年)

※昭和2～9年は公簿調査による戸籍人口、昭和10年以降は国勢調査及び推計人口調査によります。ただし、昭和5年は国勢調査、昭和16、23年は常住人口調査、昭和19～21年は人口調査によります。

【磯子区】

(千人)



JR新杉田駅
洋光台駅、開業

人口のピーク
(170,327人)

人口
370万人
突破

人口
300万人
突破

人口
350万人
突破

● 磯子区
● 横浜市

磯子区制90周年(平成29年)
市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」初開催(平成27年3月)

東日本大震災(平成23年3月11日)

横浜開港150周年(平成21年)

磯子区制80周年(平成19年)

みなとみらい線開通(平成16年)
2002 FIFAワールドカップ
韓国・日本開催(平成14年) ↓ 決勝戦は横浜で

磯子区新総合庁舎が完成(平成11年)
横浜国際総合競技場オープン(平成10年)
磯子区制70周年(平成9年)

青葉区・都筑区が誕生(平成6年)
横浜ランドマークタワーオープン(平成5年)

金沢シーサイドライン開通、
横浜ベイブリッジ開通(平成元年)
磯子区制60周年(昭和62年)
栄区・泉区が誕生(昭和61年)

横浜スタジアム完成、大通り公園開園(昭和53年)
磯子区制50周年(昭和52年)

JR根岸線が全線開通、
石油危機(洗剤・トイレットペーパー不足が深刻化)
(昭和48年)

※各年10月1日現在。ただし、昭和2～4年、6～9年は12月31日現在、昭和18年は12月1日現在、昭和19年は2月22日現在、昭和20年は11月1日現在、昭和21年は4月26日現在、昭和23年は8月1日現在。